

高松宮賜杯第67回 全日本軟式野球大会 対馬予選会

【1部・2部の同日開催】

会期 令和5年4月2日(日)
会場 美津島野球場

1部 (B級)

Bravo 県大会
0 6/3~4
③ 4 松浦/平戸
敵原マリナーズ

2部 (C級)

OCEANS 11
① 0 11 県大会
球王クラブ 0 5/27~28
高伸クラブ ④ 6 島原市
② 10
対馬・J 7

①【2部一回戦】08:57~ 1時間20分 五回コールドゲーム

OCEANS	421 31	11	【三】春田朱、一宮
球王クラブ	000 00	0	【二】春田龍

OCEANSは初回一死後に中安打の一宮が二盗し、続く春田剛の右前打で先制すると、続く敵失の二三塁に浦瀬の左犠飛。なおも二三塁に山坂が中前2点打し4点を先取すると、二回は春田龍の一塁強襲打が跳ねてベンチ入りするエンタイトル打。続く敵失などで2点を加えると、三回には先頭死球からの二死二塁に橋本が右中間適時打。四回には代わった縫田から一死後に右安打の春田剛を春田朱の左中間三塁打で返し、敵失で春田朱が生還後の一死二三塁に築城の中犠飛で3点目。五回は四球の春田龍を一宮の右中間三塁打で返し、五回で11点差のコールド勝利した。

球王クラブは松村聖が2安打し気を吐いたが三塁を踏めずに終わった。6番ライトの小島あかりは19歳の女子選手で左飛と三ゴロの打撃だった。

【OCEANS】打安点球

⑥ 春田 龍馬	3 1 0 1
⑤ 一宮 智哉	4 2 1 0
⑧ 春田 剛志	3 2 1 0
H7 小島 健太	1 0 0 0
① 春田 朱哉	4 1 2 0
③ 浦瀬 紬	2 0 1 0
② 山坂 真心	1 1 2 2
⑦8 築城 陽聖	2 1 1 0
④ 吉田 正太	3 0 0 0
⑨ 橋本 健	3 1 1 0
犠2振3残5併0	26 9 9 3

【球王クラブ】打安点球

⑤ 西村 大暉	3 0 0 0
⑥1 縫田 雄人	2 0 0 0
③ 當麻 洋平	1 0 0 1
② 松村 聖	2 2 0 0
④ 横平 高樹	2 0 0 0
⑨ 小島あかり	2 0 0 0
⑦ 村山 拓朗	2 0 0 0
⑧ 築城 公則	1 0 0 0
H 有江 大智	1 0 0 0
①6 松村 繁文	1 0 0 0
H 小宮 憲司	1 0 0 0
犠0振4残4併0	18 2 0 1

【審判】原田武茂、平松馨、松尾吉範、築城貴憲

②【2部一回戦】10:34~ 1時間32分 六回時間切れ

対馬・J	020 302	7	【二】井
高伸クラブ	403 30X	10	齋藤良2

初回の高伸クラブは先頭安打の東川が犠打二進後に齋藤良の右二塁打。さらに小宮直が遊内野安打の一三塁に岡部が左安打。返球の間に岡部は二進した二死二三塁に山下が二者を選す中安打で4得点した。2点差に迫られた三回は先頭で中越え二塁打の齋藤良が2連続の敵失で還り、その二者も敵失と初村の中犠飛で還り5点差を付けた。四回には先頭から3連続敵失の無死満塁に三ゴロで三走が還った二死後の二三塁にこの回4個目の敵失を得、安木の左前適時打で3点目が入った。

三回と四回の守備で8失策の対馬・Jの攻撃は活発で11四死球にも恵まれて7得点したが、失点数が多かった。二回の2点は先頭死球と財部の安打からの一死一二塁から、田中、坂上、黒岩の3連打。四回の3点は先頭四球から一死後に連続の死四球で満塁に村井の中安打。原田の四球押し出し後の二死満塁に井の四球で3点目。5点差を追う六回は二死から財部が四球。井が左線二塁

【対馬・J】打安点球

⑨ 江口 豊隆	3 0 0 1
④7 小島 一輝	2 0 0 2
③ 村井 英哉	4 1 1 0
⑤ 原田 武茂	2 0 1 2
⑧ 財部 仁	2 1 0 2
① 井 浩	2 1 1 2
⑥ 田中 淳也	4 2 2 0
② 坂上 仁志	3 1 1 1
⑦ 黒岩 到	1 1 1 0
H4 多田 直樹	1 0 0 1
犠0振3残10併0	24 7 7 11

【高伸クラブ】打安点球

④ 東川 昌平	3 1 0 1
③ 小宮 良太	2 0 0 0
13 高原 吉弘	1 0 0 0
⑥ 齋藤 良樹	3 2 1 0
② 小宮 直人	4 1 0 0
⑧ 岡部 洋平	3 1 1 0
⑤ 齋藤 啓太	3 0 1 0
⑨ 山下 祐喜	3 1 2 0
⑦ 初村 脩兵	2 0 1 0
①3 安木 和也	3 1 1 0
1 安部 広樹	0 0 0 0
犠2振1残6併0	28 7 7 1

打した二者を田中が右前2点打し追いすがったが、あと3点を奪うことが出来ずに時間切れとなった。

【審判】川崎仁、築城公則、平松馨、縫田幸広

④【2部決勝戦】14:27~ 1時間30分 五回時間切れ

OCEANS	092 00	11	【三】築城
高伸クラブ	200 04	6	【二】春田剛、安部

4週間前開催の西日本2部決勝戦と同一カード対戦はOCEANSが2連勝した。二回表の9得点は4敵失と4死四球にも恵まれた。5番からの始まり打者13人は一死後に2連続敵失で一二塁。三振二死後に橋本、春田龍が連続死四球で押し出し。続く内野ゴロ失と春田剛の四球押し出し。続くこの回4個目の敵失に打者一巡の浦瀬が死球で押し出し5点目。満塁走者一掃の右三塁打を築城が放ち、吉田も左適時打で都合9得点。投手高原の自責点は0。三回に代わった安部に対しても敵失と四球の二死一二塁に春田朱の左飛失で二者生還。結局11得点したが、打点は押し出しの3点と築城の3打点に吉田が適時打の計7点。2投手の自責点はゼロ。

高伸クラブは相手を上回る6安打。初回の先取点は先頭四球が犠打二進。死球と投ゴロ進塁の二死二三塁に岡部が一二塁間を抜く2点打。三回一死後に齋藤良の中安打は実らなかったが、五回は先頭山下の死球に東川も選んで一二塁。安部の右中間二塁打で

【OCEANS】打安点球

⑥ 春田 龍馬	3 0 1 1
⑤4 一宮 智哉	4 0 0 0
⑧ 春田 剛志	1 1 1 2
② 春田 朱哉	3 0 0 0
③ 浦瀬 紬	2 0 1 1
① 築城 陽聖	3 2 3 0
④7 吉田 正太	3 1 1 0
⑦ 小島 健太	3 0 0 0
5 小宮 祐希	0 0 0 0
⑨ 橋本 健	2 0 0 1
犠0振7残3併0	24 4 7 5

【高伸クラブ】打安点球

④ 東川 昌平	1 0 0 2
③ 小宮 良太	0 0 0 0
1 安部 広樹	2 1 1 0
⑥ 齋藤 良樹	2 2 1 1
② 小宮 直人	3 0 0 0
⑧ 岡部 洋平	3 1 3 0
⑤ 齋藤 啓太	2 1 1 1
①3 高原 吉弘	3 1 0 0
⑦ 初村 脩兵	3 0 0 0
⑨ 山下 祐喜	1 0 0 1
犠1振5残5併0	20 6 6 5

【審判】築城貴憲、武本龍太郎、多田康佑、川崎仁
二走が還り二三塁。齋藤良が左前打で続き三走を選すと、二死二三塁となったところで齋藤啓と高原に連続タイムリー一打が出て4得点。この回打者9人目の初村が三振に倒れたところで、90分のタイムアップとなった。

対馬代表が初参加した昭和49年以降の、高松宮賜杯2部長崎県大会の戦績

S.49	巖原ボンバーズ	①➡棄権	H.4	上対馬メッツ	①	H.19	峰エンゼルス	①
S.50	巖原ベガサス	不明	H.5	上対馬メッツ	①②③BEST4	H.20	豊玉町野球部	①
S.51	巖原ベガサス	②③BEST4	H.6	巖原レパーズ	①②③BEST4	H.21	巖原ファイターズ	①
S.52	上対馬漁協	②③④優勝	H.7	巖原ファイターズ	①	H.22	上対馬メッツ	①②
S.53	豊玉クラブ	①	H.8	上対馬クラブ	①②	H.23	上対馬メッツ	①
S.54	航空自衛隊	①	H.9	上対馬クラブ	①	H.24	巖原ブラボー	①
S.55	航空自衛隊	①➡棄権	H.10	巖原マリナーズ	①②③④優勝	H.25	ドンジャース	①
S.56	豊玉クラブ	①	H.11	美津島ポパイ	①②	H.26	美津島ポパイ	①
S.57	電々佐賀野球部	①	H.12	美津島ポパイ	①	H.27	豊玉サンライズ	①
S.58	豊玉コメッツ	①②③BEST4	H.13	上対馬メッツ	①②③BEST4	H.28	巖原ブラボー	①
S.59	豊玉コメッツ	①	H.14	巖原ファイターズ	①	H.29	豊玉サンライズ	①
S.60	豊玉コメッツ	②	H.15	巖原NYビーンズ	①②③④準優勝	H.30	球王クラブ	①②
S.61	美津島ポパイ	①②③BEST4	対馬開催	巖原ファイターズ	①②③BEST4	R.元	豊玉町野球部	①
S.62	豊玉コメッツ	①②③BEST4		佐賀エンゼルス	①②③BEST4	R.2	ドンジャース	コロナの影響で中止
S.63	豊玉コメッツ	①		巖原ブラボー	②	R.3	豊玉町野球部	不参加
H.元	豊玉コメッツ	②	H.16	佐賀エンゼルス	①②	R.4	対馬・J	①
H.2	上対馬ライオンズ	①②③④優勝	H.17	制覇クラブ	①	R.5	OCEANS	
H.3	上対馬ライオンズ	①	H.18	制覇クラブ	不参加			

③【1部決勝戦】12:22～ 1時間50分 六回時間切れ。七回からタイブレーク

巖原マリナーズ	000 000 4	4
Bravo	000 000 0	0

【二】武本、小松
山口

【巖原マリナーズ】 打安点球

【Bravo】 打安点球

② 武本龍太郎	3 1 0 1	⑤ 春田 一馬	4 2 0 0
⑥ 阿比留 駿	4 1 0 0	⑥ 山口 真吾	3 2 0 1
⑧ 小松 蓮	4 1 2 0	③94 井 聡裕	2 0 0 1
⑤ 阿比留隆太	4 1 1 0	② 山代 毅	3 0 0 0
③ 神宮大司朗	3 0 0 1	⑧ 扇 祥喜	3 0 0 0
⑦ 里 隼人	2 0 0 1	① 延塚 敬志	2 1 0 1
DH 小山 耕平	2 0 0 0	⑨7 中屋 隆太	3 0 0 0
H 朝妻 直斗	0 0 0 1	⑦ 吉富 源	1 0 0 0
R 鬼橋 佑介	0 0 0 0	H3 小田 剣生	2 0 0 0
④ 瀬谷 友啓	2 0 0 0	④ 小宮 博輝	1 0 0 1
H4 高松 翔	1 0 0 0	9 多田 康祐	1 0 0 0
⑨ 原田 郁也	3 0 0 0	犠O振5残10併1	25 5 0 4
P 上原 有人	- - - -		
P 山本 卓	- - - -		

犠O振10残9併0 28 4 3 4

【審判】松尾吉範、吉野徹、坂上仁志、田中淳也
こまで残塁は毎回の9個。延長七回は春田からの好打順も中飛(二走は三進)後に、遊→二→一の併殺打で無得点。

六回を終わって0-0。時間切れで七回は無死一二塁でのタイブレーク戦。先攻のマリナーズは先頭が三ゴロで送球の間に進塁後に四球で満塁。二死となったところで暴投により三走が生還した二三塁に小松が左線に2点二塁打。続く阿比留隆も三遊間を抜き小松が二塁から還った。六回までのマリナーズは散発2安打に3四死球3敵失の8走者を毎回、塁上に残した。特に二回は先頭から二者連続敵失に一ゴロの一死二三塁。三回は先頭の武本が右線二塁打し三盗も決めた無死三塁。四回には先頭から二者連続の四死球も後続が三者三振で得点機を逸した。

Bravoも五回まで毎回得点圏内に走者を置いたが効果打が無かった。初回一死後に山口の右二塁打も投手牽制球死。二回一死後に安打の延塚が三直一塁送球悪送球で二進も。三回は一死後に春田が二塁内野安打。続く山口の左安打で三塁を陥れるも返球で塁上死。四回一死後は敵失と四球の二者が暴投で二三塁も投ゴロ本塁死。五回は先頭の小宮が頭部死球。春田の左前打と四球の無死満塁にクリーンアップが三振、遊ゴロ本封、投ゴロに倒れた。六回に代わった山本からも二死後に敵失出塁も進塁できずに、こ

対馬代表が初参加した昭和53年以降の、高松宮賜杯1部長崎県大会の戦績

S.53	上対馬漁協	①	H.5	美津島マーシャルズ	①	H.21	巖原レパーズ	①
S.54	豊玉クラブ	①➡順延を棄権	H.6	美津島ポパイ	①	H.22	巖原NYビーンズ	①
S.55	上対馬クラブ	①②③BEST4	H.7	上対馬ライオンズ	①②	H.23	制覇クラブ	①
S.56	巖原海王	①	H.8	上対馬ライオンズ	①②③BEST4	H.24	制覇クラブ	①②
S.57	豊玉クラブ	①➡順延を棄権	H.9	巖原ファイターズ	①	H.25	巖原マリナーズ	①②③BEST4
S.58	巖原海王	①②③④優勝	H.10	大洋真珠クラブ	①②	H.26	巖原マリナーズ	①
S.59	上対馬ニュー北斗	①②③BEST4	H.11	巖原レパーズ	①	H.27	巖原ビーンズ	①
S.60	巖原ワイズ	①	H.12	巖原レパーズ	①	H.28	巖原マリナーズ	①
S.61	巖原海王	①②③④優勝	H.13	巖原レパーズ	②	H.29	制覇クラブ	①
S.62	豊玉クラブ	①	H.14	豊玉町野球部	①②③BEST4	H.30	制覇クラブ	①
対馬	巖原海王	①	H.15	豊玉町野球部	①②③BEST4	R.元	制覇クラブ	①
S.63	豊玉クラブ	①②③④準優勝	H.16	巖原レパーズ(代理)	①	R.2	制覇クラブ	コロナの影響で中止
H.元	豊玉クラブ	①②	H.17	巖原マリナーズ	②③④優勝	R.3	巖原マリナーズ	不参加
H.2	豊玉クラブ	①②③④優勝	H.18	巖原NYビーンズ	①②	R.4	Bravo	①
H.3	上対馬クラブ	①	H.19	巖原NYビーンズ	①	R.5	巖原マリナーズ	
H.4	峰ファイターズ	①	H.20	巖原レパーズ	①			

2年ぶり7回目の高松宮賜杯1部長崎県大会の出場を決めた『巖原マリナーズ』

